

「活動的で自立したスカウトを育てよう！」

公益社団法人 日本ボーイスカウト大分県連盟

コミッショナー 真田 康広

三指。

日頃よりボーイスカウト大分県連盟の活動に対しましてご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。新型コロナ禍でのスカウト活動につきましては、先日の県連盟第1回理事会において“大分県連盟における活動内容に応じた留意事項等”を確認し、各団へお知らせさせていただきました。感染状況の評価（感染ステージ）からの判断が困難になっていますので、基本的な感染防止策に則り、ボーイスカウト本来の「野外が教場」を中心に活動を継続して参りますので、引き続き対応への協力をよろしくお願い致します。



本年度（2022年）日本連盟が創立100周年を迎えました。これまでの長中期計画のとりまとめとして、本年度も事業スローガン「活動的で自立したスカウトを育てよう！」、とりわけ大分県連盟としては、スカウトのモットーである「そなえよつねに」を大切に『災害にもそなえるスカウト』を目指したいと存じます。

重点施策の骨子は引き続き次のとおりですが、それぞれの内容は総会資料へ掲載しますので、あわせてご確認をお願いします。

- 1) 社会から評価されるスカウトの育成
- 2) 隊・団指導者の充実
- 3) 会員の確保
- 4) セーフ・フロム・ハームの実践、SDGsの取組等スカウト運動の社会的信頼の向上

昨年は、一昨年から引き続き、新型コロナの感染拡大防止への対応が継続した一年間でした。大分県連盟

としてはGW中のボーイスカウト活動の自粛をはじめ、夏季はデルタ株の流行で県内の感染ステージがⅡへ移行し、18NSJに向けた合同訓練キャンプが実質中止されたことや、2022年に入って第6波となるオミクロン株の流行によって「まん延防止等重点措置」の適用に伴い、集合しての活動の自粛が続くなど、従来の宿泊を伴う活動や多人数での活動が制限されました。一方で、オンラインを活用した活動や集会、会議の実施が進みました。

県連盟での開催が2年目となる「ワクワク自然体験あそび」は、新たに杵築市会場（8.1 天満児童公園）と大分会場（10.31 宗麟大橋河川敷）、ピーパーフェスティバル（11.3）と同会場で開催しました。

また、12月4日には杵築市横岳自然公園で「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび」を県連盟主催、杵築第1団主管で、小学2～4年生の子どもたちを対象に文部科学省委託事業、杵築市教育委員会の後援事業として開催しました。結果、その後の杵築第1団の年度内登録に繋げることができ、またスカウティング誌（2022.3月号）に紹介されるなど、たいへん有意義な取組となりました。これらは引き続き日本連盟・各団と連携しながら活動の進め方について共有し、継続開催して行きたいと思えます。

さらに、本年度の事業計画の基本方針には、新たに「環境教育プログラム『Earth Tribe（地球部族）』を全部門において推進する。」を追加しています。日本連盟100周年事業の一つ“スカウトの日～プラごみバスターズ大作戦～”も予定されていますので、各団におかれてはプログラムの実践を通じてスカウト活動を活性化されることを期待します。

今年度も把手共行（はしゅきょうこう）し、ボーイスカウト運動の推進に取り組んで行きましょう！

由布第2団

今年もそれぞれ上進・入隊式が行われました。ビーバー隊は、発団当時から使用しているビーバーの橋を渡り、カブ隊へ入隊しました。



早速、町内が見渡せる神社へハイキング。



ベンチャー隊は、隊長から発団当時の想いを聞き、スカウトも決意を新たにしました。

それぞれの気持ちを繋ぐ入隊式となりました。



大分第2団

カブ隊とビーバー隊の合同集会をしました。基本訓練と、トキハの前でウクライナへの支援募金をさせて頂き、道行く方々にスカウトが大きな声で支援の協力を呼びかけました。



1時間の短い間に、21178円を募金して頂き、外国の方からも自国の紙幣で協力を頂きました。



集まった義援金は日本赤十字社を通して送金しましたが、願わくば、ウクライナの子供達の為になる様に役立てて頂けたら幸いです。スカウトの努力と、多くの皆様の御心に感謝して、ウクライナの平和を祈ります。有難うございました。

大分第1団

カブ隊は新しい組長・次長が決まり、新体制でスタートです。今回は大分市美術館周辺でポイントゲームや自然観察をしました。



みんなで立てた今年度の目標は「仲間を増やす！」頼もしい。



大分第5団

5月15日(日)日吉原緑地公園にて自然体験あそびを開催しました。小学生低学年を対象に弓矢作り・ロープ渡り・陣取りゲームなどをして遊びました。



弓で動物を描いた絵に当てるゲームでは盛り上がりました。



また、ロープ渡りでは初めは怖がっていましたが慣れてくると何回もチャレンジをしていました、短い時間でしたが楽しい時間をみんなで一緒に過ごしました。



中津第8団

4月4日に入隊・上進式が開催されました。ボーイ隊は川野隊長念願の2班になり、これからの集会が楽しみになりました。



ビーバー隊には新しい指導者が増え、中津第8団も少しずつ盛り上がって来ました！



別府第9団

発団46年目の今期は、4月の入隊式より総勢39名でスタートしました。

「いつもげ・ん・き！」なカブスカウト15名は、基本訓練から取り組み中。



DLからサインをもらったり、進歩壁掛け表に自分で書き込んだりとやる気満々です。



自然の中で仲間と夢中になって遊び学ぶことや、心身を鍛え互いの絆を深めていくスカウト活動は本当に素晴らしい活動です。



津久見第1団

4月24日「東西ジャニーズ Jr.ぼくらのサバイバルウォーズ」を見に行ってきましたので、映画の感想をカブスカウトに聞いてみました！

「キャンプで使われる道具が色々出てきて、ボーイスカウトの魅力をたくさん知ることができました。」「太陽の位置と時計の針で方位がわかったり、ボーイスカウトではいろんな事を学ぶことができるんだと思いました。」「ボーイ隊に上進するのが楽しみです。そして、仲間は大切だなと思いました。」



杵築第1団

昨年は県連・県内各団のご協力をいただき2度に渡り「わくわく自然体験あそび」を杵築市で開催して頂きました。

風前の灯火であった我が団も2名の隊員を獲得でき令和4年を迎えましたが、

コロナ禍の中で隊集会の開催も厳しい状況でしたが4月24日に新体制にて開催する事ができました。



5月15日、東洋のナポリと言われる津久見の保戸島に行ってきました。津久見港から25分の船旅はワクワク感でいっぱい。島に到着すると沢山のカモメや猫がお出迎えしてくれました。保戸島小学校の裏にある秘密の海岸で遊んだり、日本一狭いと噂される県道も発見、午後はスケッチをして島旅を楽しみました。



リーダーも久しぶりの隊集会となり、緊張の中にロープワークや計測など4名の子供たちと有意義な時間を過ごしました。

写真は12月4日の「ワクワク自然体験あそび」です。



大分第9団

場所は日出町の城山です。日出町役場を出発して横津神社を経て山頂で昼食です。



山頂では宝探しゲームを行い、景品をゲットしました。



下山は石鎚神社と黒岩公園を経て暘谷城跡までのハイキングでした。鹿鳴越連山トレッキングコースもお奨めです。



令和4年度の主な行事

7月16日(土)、17日(日)

パイオニアリング

(ベンチャースカウト対象)

今年は「軽架橋(人が渡れる橋)」を作ります。

8月 4日(木)～ 9日(火) 5泊6日

18NSJくまもとサテライト

大分第1団、大分第5団が参加

8月 4日(木)～ 9日(火) 5泊6日

ジャンボリーサマー2022in 庄内大津留

別府第9団、大分第9団、由布第2団、津久見第1団が参加

8月 5日(金)～10日(水) 5泊6日

ジャンボリーサマー2022in 杵築住吉浜

中津第8団、大分第2団が参加



9月11日(日) 予定

スカウトフォーラム

(ベンチャースカウト対象)

今年は12月に全国スカウトフォーラムが川崎市で行われます。

11月 3日(木・祝)

ビーバーフェスティバル

(ビーバースカウト対象)

12月 4日(日)

カプフェスティバル

(カプスカウト対象)

1月22日(日)

スカウトフェスティバル

(ボーイスカウト対象)